

財政・社会保障の持続可能性に関する
「制度・規範ワーキング・グループ」
プレゼンテーション(平成24年5月8日)

世代内格差と公平性の確保

一橋大学経済研究所
稲垣 誠一

報告の概要

- ▶ 世代内格差と公平性の確保について(問題意識)
- ▶ 1950年代生まれの世代内格差
 - ▶ 現在50歳代であり、現役時代の所得・年金受給見込額がほぼ確定
 - ▶ 現役時代から年金受給時代(見込み)にかけて世代内の所得格差をトレース可能
- ▶ 貧困高齢者比率の将来見通し(世代内公平性の観点からの年金制度改革の評価)
 - ▶ 年金制度改革に関する政府案の評価(高齢者の貧困リスクの改善効果)
 - ▶ 新しい改革案(基礎年金)の提案
- ▶ 年金制度の抜本改革の提案(公私の役割分担の見直し)
- ▶ 参考文献
 - ▶ 稲垣誠「1950年代生まれの所得格差と就業行動—ねんきん定期便の加入履歴等に関するインターネット調査の概要と分析—」『日本統計学会誌』, 第41巻第2号, 2012年3月, pp.285-317.
 - ▶ 稲垣誠「ダイナミック・マイクロシミュレーションモデルによる年金制度改革の貧困リスク改善効果分析—年金制度改革に関する政府案の評価と新しい改革案の提案—」一橋大学経済研究所世代間問題研究機構ディスカッションペーパー550号, 2012年4月.
 - ▶ 稲垣誠「支給開始年齢の引上げ—マクロの財政論ではなく、ミクロの分配論から考える—」『年金と経済』第30巻第4号, 年金シニアプラン総合研究機構, 2012年1月, pp.3-9.
 - ▶ 稲垣誠「公私の役割分担の見直しと年金制度改革」『月刊企業年金』第31巻第3号, 企業年金連合会, 2012年3月, pp.24-27.

世代内での公平性の確保とは

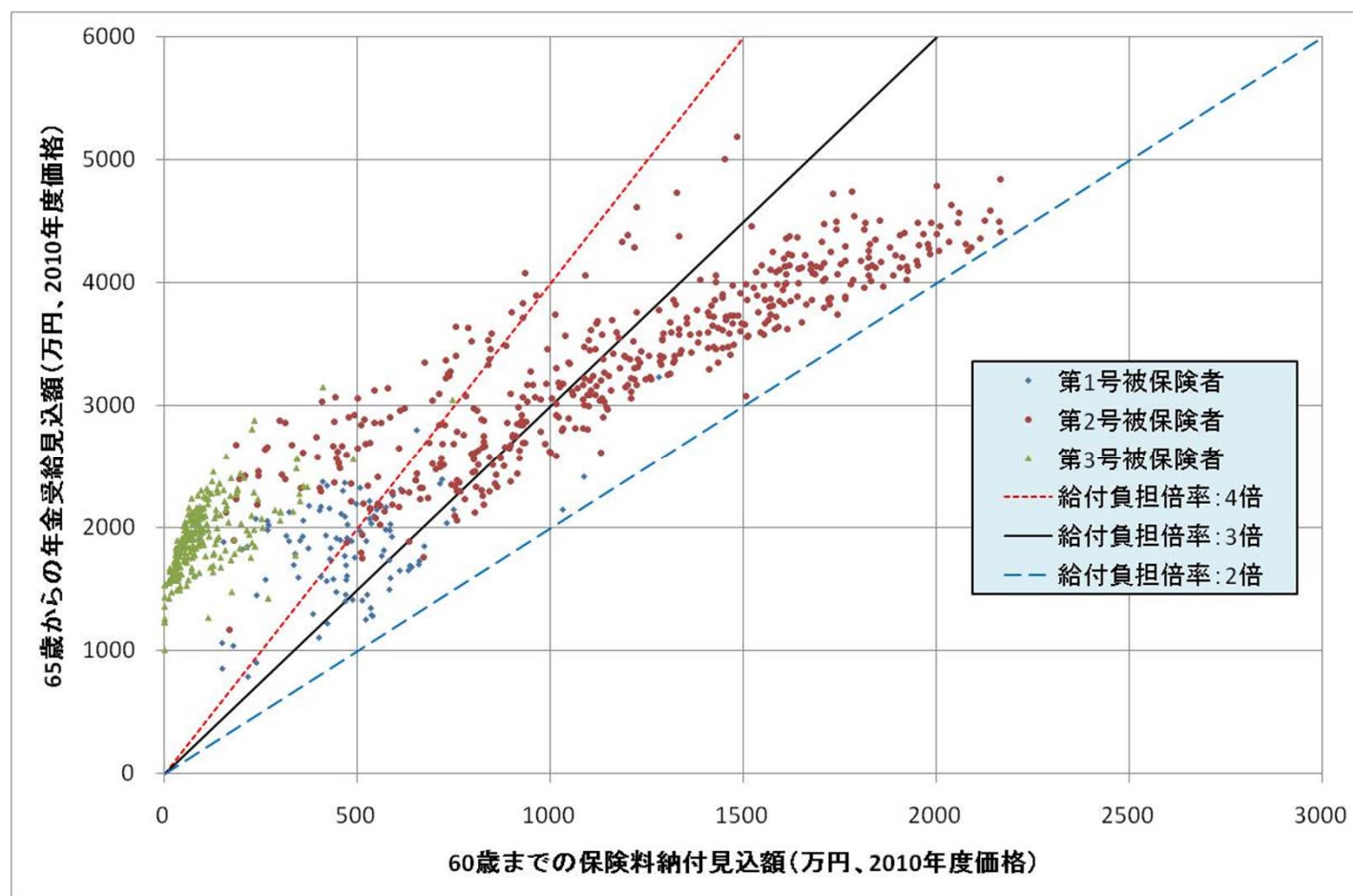
- ▶ 社会保障制度とは
 - ▶ 国民の生活の安定が損なわれた場合に、国民にすこやかで安心できる生活を保障することを目的として、公的責任で生活を支える給付を行うもの
- ▶ 世代内での公平性の確保
 - ▶ 負担能力に応じて社会保障の負担を分かち合う仕組みが重要
 - ▶ 貧困・格差対策の強化 → 社会保障制度の重要な機能
 - ▶ 一方で、「負担と給付の関係が明確な社会保険の枠組みの強化」(一体改革成案)が指摘されているが、両立は可能か？
- ▶ 世代内での公平性をどのように評価するか
 - ▶ 世代間公平は、世代会計の概念により定量的な評価
 - ▶ 世代内公平は、世帯類型別で評価されることが多いが、各世帯タイプのウエイト(特に将来)が不明であり、定量的な評価としては不十分
 - ▶ 貧困・格差対策は重要な柱であり、各世帯タイプのウエイトを考慮した所得分布(ジニ係数)や貧困率などでも評価すべき

1950年代生まれの所得格差

- ▶ **ねんきん定期便の加入履歴等に係るインターネット調査**
 - ▶ 「ねんきん定期便」が送付される全国の公的年金の加入者(共済組合の加入者を除く)を対象
 - ▶ 年金の加入履歴や標準報酬の履歴、保険料の納付総額や年金受給見込額等を転記してもらい、ライフイベントの発生時期や現在の個々人のプロフィールを調査
 - ▶ 高学歴に偏ったサンプルであることに留意が必要
- ▶ **集計・分析結果**
 - ▶ 保険料納付総額と年金受給総額の分布
 - ▶ 賃金プロファイル(性別・中央値)
 - ▶ 平均収入・中央値・ジニ係数(性別・年齢階級別)
 - ▶ 標準報酬の順位相関係数(男子・年齢階級別)

保険料納付総額と年金受給総額の分布(1950年代生まれ)

- 厚生労働省の計算方式(賃金上昇率で割引き、本人負担のみ)で算定
- 1950年代生まれでは、給付負担倍率は最低でも2倍
- 広範囲にわたる分布であり、モデル(たとえば片働き夫婦)で代表させることは無理
- 最も加入期間の長い加入種別(第1号、第2号、第3号の別)で分類

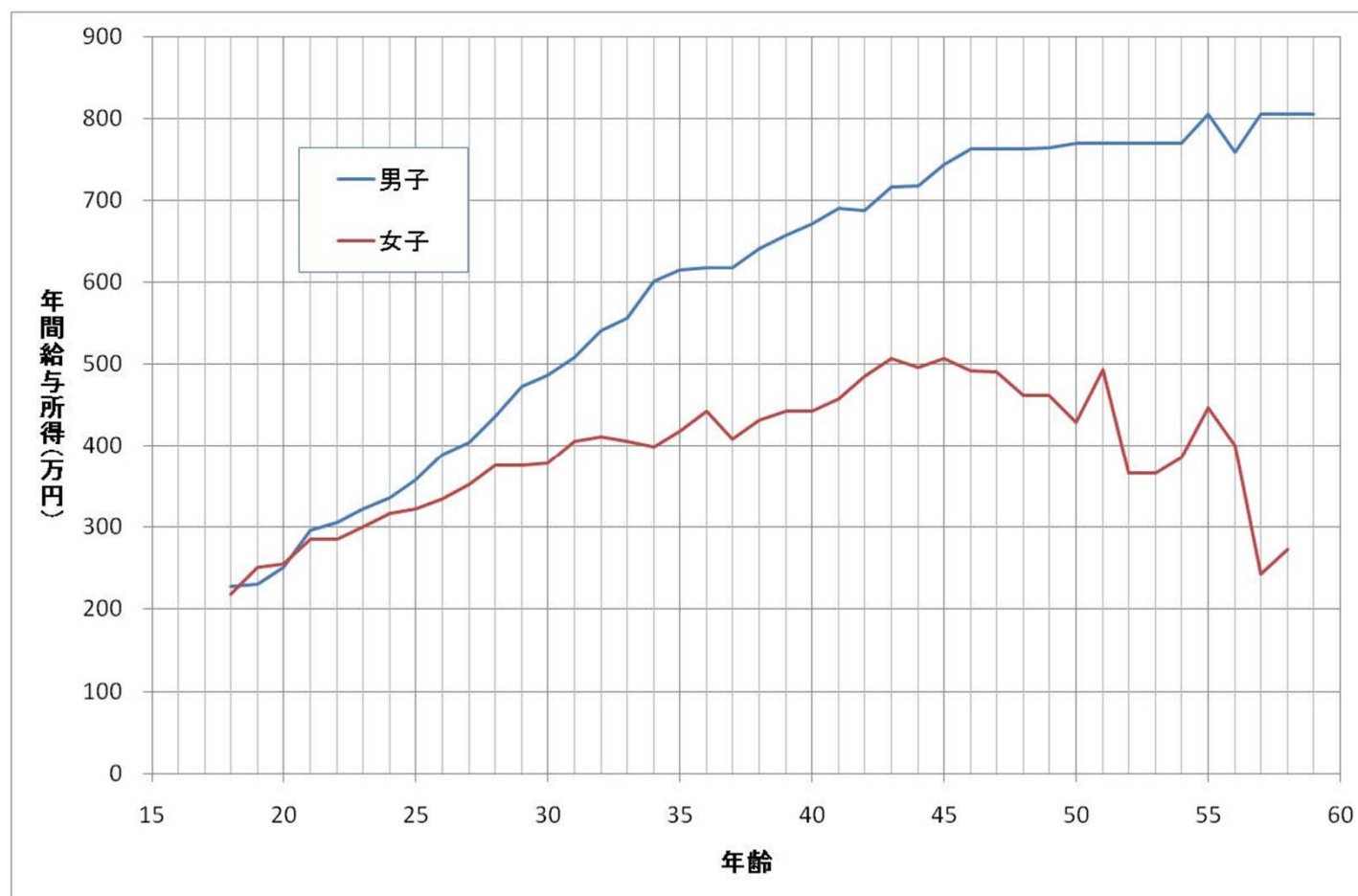


▶ 5

(注) 厚生年金基金による代行分は、給付と負担の両方に加算

賃金プロフィール(中央値)(1950年代生まれ)

- 第2号被保険者(いわゆる正社員がほとんど)の賃金プロフィール
- 年間給与所得は、標準報酬の1.3倍として算定
- 女子の給与所得は男子に比べて著しく低く、フラット化の年齢も早い(1950年代生まれ)
- なお、1960年代以降生まれの賃金プロフィールは、より低い年齢でフラット化



給与所得の平均値・中央値・ジニ係数(第2号被保険者)(1950年代生まれ)

- 1950年代生まれの20歳代、30歳代、40歳代、50歳代時の給与所得の分布
- 初任給(20歳代)での格差は小さいが、年齢が高くなるほど格差が広がる
- 年金見込額の格差は、生涯の平均給与の格差よりもかなり小さい(所得再分配効果)
- なお、これは第2号被保険者のみの格差であり、非正規就業を含めると格差はより拡大

	男子			女子		
	平均値	中央値	ジニ係数	平均値	中央値	ジニ係数
20歳代	397.5	391.4	0.101	325.4	324.4	0.122
30歳代	597.9	582.5	0.127	426.6	409.1	0.204
40歳代	708.0	723.3	0.129	501.9	511.5	0.229
50歳代	726.5	770.6	0.160	454.5	395.1	0.264
全期間平均	603.2	599.5	0.122	422.8	426.4	0.185
年金見込額	196.0	198.6	0.092	151.2	148.8	0.109